

## 平成28年度 産業建設部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
産業建設部長 森 謙治	<p>●使命 私たち産業建設部は、錦海塩田跡地活用事業を推進するとともに市民が安心して暮らすことができるよう、インフラの整備やブランドの推進、産業の活性化を積極的に進めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>①河川、高潮、住宅の耐震化等の防災対策事業を計画的に実施します。</p> <p>②生活道路等の年次的な整備を促進します。</p> <p>③地域産業の活性化を図るため創業者支援、企業誘致を促進します。</p> <p>④地域特産品の開発及びブランド化、農林水産物等の販路拡大など農林水産業の基盤整備を推進します。</p> <p>⑤堤防、排水ポンプ等公共施設の管理責任を果たすと同時に、安全で円滑な事業実施を図ります。</p>	所管課 建設課・産業振興課			
		人 員	正職員 33人	臨時職員 5人	合計 38人
		一般会計	2,733,659 千円		
		特別会計	505,245 千円		
		計	3,238,904 千円		
		(うち人件費)	( 240,819 千円)		



重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>道路施設、港湾施設、住宅の老朽化対策の推進及び高潮の防災対策の推進</p> <p>道路管理者として、道路を常時良好な状態に保つように維持、修繕することが法令化されたことを受け、5年に1回、橋梁点検を実施し健全性の診断を行い、適正な管理を進めます。</p> <p>港湾施設も老朽化が進行していることから、必要な機能を維持しつつ、将来の更新コストの平準化を図るため、長寿命化計画を策定し、適正な管理を進めます。</p> <p>住宅についても、住宅耐震診断・補強計画、耐震工事を広報誌等による周知により事業推進し、災害の未然防止や被害の軽減を図ります。</p> <p>沿岸部において、台風時等の高潮対策で問題となっている内水排除について、排水施設の適正化検討を行い、防災対策を進めます。</p>	<p>市道の橋梁 573 橋について、平成 26 年度から 30 年度の 5 カ年で計画的に法令点検を実施しており、これまでに 102 橋を点検済みです。 今年度は160橋について法令点検を実施します。</p> <p>市が管理する8つの港湾のうち外郭施設10箇所、係留施設9箇所の現地調査を実施します。</p> <p>住宅の耐震診断、補強計画、補強工事に対する補助金を交付します。 (木造住宅) 耐震診断19件 補強計画10件 補強工事5件</p> <p>現在、仮設ポンプを設置している箇所とこれまでに台風等による浸水被害があった個所について、排水施設の適正化について検討を実施します</p>	<p>160 橋の法定点検について、発注済み。現地点検中。</p> <p>外郭施設11箇所、係留施設12箇所の現地調査を発注済み。現地調査中。</p> <p>広報誌に掲載して周知しました。 実績 (木造住宅) 耐震診断10件 補強計画 0件 補強工事 0件</p> <p>沿岸部排水計画策定業務を発注済み。9月末契約。</p>	<p>111 橋の法定点検が完了。残り 49 橋は 2 月末完了予定で実施中。</p> <p>外郭施設11箇所、係留施設12箇所の現地調査については完了。結果をとりまとめ中。</p> <p>実績 (木造住宅) 耐震診断11件 補強計画 1件 補強工事 0件</p> <p>現況把握、確率評価手法の検討、流出解析まで完了。 内水排除方策の検討について作業中。</p>	<p>160 橋の法定点検が完了。</p> <p>外郭施設 11 箇所、係留施設 12 箇所の現地調査、とりまとめ完了。</p> <p>八日市地区にて耐震診断・改修工事の PR ビデオ放映とチラシの配布 実績 (木造住宅) 耐震診断11件 補強計画 1件 補強工事 0 件</p> <p>内水排除方策としてポンプ設置規模の算出完了。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2 生活道路等の整備	地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路の維持補修や改修整備などを促進し、安全安心な地域づくりを推進していきます。また、まちづくりに必要な道路の整備を進めます。	生活道路改良工事では、舗装、修繕を含め20路線を実施します。  生活道路維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率60%以上を目指します。  豆田工業団地線の早期着手を目指します。	31路線の工事発注を行い、12路線が工事完了。  要望書件数236件に対し122件対応し実施率52%。  9月末に建物支障移転が完了し、10月に工事発注予定。	48路線の工事発注を行い、28路線が工事完了。  要望書件数298件に対し195件対応し実施率65%  豆田工業団地線工事を12月末に契約。工事着手。	49路線の工事発注を行い、44路線が工事完了。  要望書件数318件に対し199件対応し実施率63%  豆田工業団地線工事を施工中。繰越工事。
3 錦海塩田跡地の適正な維持管理及び跡地活用事業の円滑な推進	跡地については、水質検査（地下水、放流水）を継続的に実施して状況を監視していきます。排水ポンプについては、適正な維持管理を行い、降雨時には適切に排水ポンプを稼働することで、周辺地域の浸水を防止します。また、排水ポンプ場周辺の老朽施設については、計画的に撤去し、安全確保を図ります。事業者が施工する工事について、現場へ立ち入り、安全管理、公害対策などの調査を行い、不適合な施工に対する措置命令などの監督処分権限を有する県と連携して、安全で円滑な実施を図ります。	年間を通じて適正な維持管理を実施し、災害等を未然に防止します。水質等の検査結果については、引き続き、地元関係者へ周知します。  老朽施設については、計画的に撤去します。  年間を通じて、住民生活に影響のないよう工事の安全性を確保し、円滑な実施を図ります。	排水ポンプを適切に稼働し、災害等を未然に防止。放流水の水質検査を毎月実施。地下水の検査は7月に実施。結果については、関係者に周知。市民からオリーブ園の木の伐採要望があり、土地の所有者の承諾を得て伐採。	排水ポンプを適切に稼働し、災害等を未然に防止。放流水の水質検査を毎月実施。地下水の水質検査を1月に実施。結果については、関係者に周知。コンクリート水槽などの老朽施設を撤去。工事等に伴うクレームについては、事業者と調整し、事業を円滑に推進した。	排水ポンプを適切に稼働し、災害等を未然に防止した。放流水の水質検査を毎月実施。地下水の水質検査を年2回実施した。水質についての異常はなく、結果を関係者に周知した。コンクリート水槽や電柱などの老朽施設等を撤去した。工事等に伴うクレームについては、事業者と調整し、事業を円滑に推進した。事業者より3月30日付で、錦海湾堤防強化工事及び玉津港防潮堤・防潮扉、師楽港防潮堤・防潮扉の寄附を受けた。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>企業誘致の促進</p> <p>地域活性化策として、工業団地の整備及び優良企業誘致活動を推進します。</p>	<p>開発面積の7割に相当する4.7haの造成工事の完成。</p> <p>岡山県等関係事業所との連携による情報収集の実施。</p>	<p>造成工事1件発注済み。年末までに調整池工事及び造成工事を発注予定。</p> <p>岡山県東京事務所等と連携した情報収集を実施。</p>	<p>造成工事2件完了。造成工事をもう1件、調整池工事1件を発注済み。</p>	<p>造成工事、調整池工事を施工中。繰越。</p>
5	<p>商工業等の活性化</p> <p>地元消費の拡大及び地域経済の活性化を図ります。また、創業者等に対する支援を強化します。</p>	<p>創業支援事業計画に基づき、瀬戸内市商工会、岡山県産業振興財団、金融機関との連携による創業支援件数149件及び創業件数18件。</p> <p>(各連携機関合計数値)</p> <p>利子補給制度等の適正な執行による中小企業の支援。</p>	<p>創業支援事業計画に基づき、1月に備前市及び和気町との共催による創業塾を実施予定。</p> <p>利子補給半期分45件実施予定。</p>	<p>創業支援事業計画に基づき、創業塾を実施中(総勢32名、瀬戸内市分15名受講中)。</p> <p>利子補給半期分45件実施済み。</p>	<p>創業支援件数79件、創業実件数25件。創業塾を実施し、創業者へ奨励金を交付した(10件)。</p> <p>中小企業への利子補給年間計約2,994千円。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
6	観光対策等の強化	観光資源の再発見や磨き上げ、情報発信に取り組むことで、観光客の増加を図ります。	<p>DESTINATIONキャンペーン期間中の観光入込客数の前年同期間比10%増加。</p> <p>外国人観光客の受入れに向けた体制の整備。</p>	<p>県動態調査対象施設（市内4施設）の入込客数は前年同期間計比93.3%（4月110.2%、5月101.3%、6月70.2%）であり、6月の天候不順により屋外の観光スポットへの入込客数が大幅に減少。期間中の市独自事業（スタンプラリーや古式鍛錬の回数増、グルメラリー、牛窓クルーズ船等）は好評で、市の魅力を内外に周知できました。</p> <p>外部コーディネーターと契約し、モニターツアーやプレス取材誘致を実施。</p>	<p>DESTINATIONキャンペーンの成果を次年度以降の観光誘致策として展開するため、地元観光関係者と連携した情報発信やイベントの実施について検討中。</p> <p>モニターツアーやプレス取材誘致のほか、刀剣博物館の多言語化や海外に向け、日本刀の聖地・備前長船をPRする映像の作成を実施中。</p>	<p>前島の体験メニュー作りやしおまち唐琴通りの古民家を活用した誘客促進事業等を地域と協力して実施しました。また、県やJRなどと連携してハレいろキャンペーン（平成29年4～9月）に伴う情報発信を行いました。</p> <p>刀剣博物館の映像や展示解説、観光マップの多言語化しました。海外の雑誌やWeb、SNSで情報発信を行い、外国人誘客促進を図りました。</p> <p>外国人ライターや留学生を招聘し、観光素材の磨き上げや受入体制整備のためのモニターツアーを実施しました。</p>

			<p>吉井川 DMO の設置等、近隣自治体との連携事業の実施。</p>	<p>吉井川流域DMOについて赤磐市、和気町と準備会を設立し、調査事業を実施。 岡山市等と連携し北前船寄港地フォーラム開催に向けて準備中。</p>	<p>準備会で引き続き調査事業を行っているほか、新たに周遊ルート等をプロモーションする事業を発注。 北前船寄港地フォーラムは、関係者との調整を進めるほか、北海道江差町での大会へ参加し情報を収集。</p>	<p>準備会で観光素材の抽出や課題等の確認、モニターツアーやプロモーションを実施しました。 北前船寄港地フォーラムは新たに倉敷市と玉野市が参加。4市と関係団体で実行委員会を組織し、フォーラム開催に向けた協議を行いました。</p>
--	--	--	-------------------------------------	---	---	--

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
7	<p>農業をはじめとした地域産業の活性化</p> <p>市内の耕作放棄地を復旧するとともに、新規就農者の確保とその支援を行います。 また、近年被害が増加している鳥獣被害の防止を図るための対策を強化します。</p>	<p>国庫事業等を活用し、耕作放棄地の年間活用面積を5ha増加。</p> <p>関係機関との連携による、技術取得のための研修、就農後の経営支援等の実施。</p> <p>瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会及び鳥獣被害対策実施隊の設置・運営に基づく鳥獣被害の減少。</p> <p>瀬戸内市振興公社等の活用による農林水産業等の活性化。</p>	<p>耕作放棄地の活用面積の実績なし。</p> <p>県のトータルサポート事業を活用し、就農準備のための支援を2名、経営開始後の支援を1名に対して実施。</p> <p>4月に協議会を設置し、5月に第1回会議を開催。6月に実施隊を設置。</p> <p>7月にアドバイザーを委嘱。9月に総務省事業を活用し経営分析を実施。</p>	<p>農業委員会との連携により市内農地の利用状況調査を実施し、5haの遊休農地の再生を確認しました。 また、鹿忍地区の耕作放棄化が進む地域において、新たに中山間地域直接支払交付金事業に取り組むことにより、今後の耕作放棄地の発生を抑制する活動を開始しました。 就農準備のため、2名に対し体験研修および実務研修（準備型）を実施中。 経営開始後の支援として1名に対して青年就農給付金（経営開始型）を支給中。 協議会設置済み。 実施隊設置済み。</p> <p>引き続き公社にて、アドバイザー業務及び新品種試験栽培を実証実験中。</p>	<p>農業委員会及び瀬戸内市振興公社と連携し、鹿忍地区で0.7haの耕作放棄地を再生し、新規作物（桑、ハーブ等）の試験栽培を実施。</p> <p>就農準備のため、2名に対し体験研修および実務研修（準備型）を実施。 経営開始後の支援として2名に対して青年就農給付金（経営開始型）を支給。</p> <p>4/1 協議会設置済み。セミナー2回開催、箱わな2基、ICTセンサー2基、止差し用具を導入。6/1実施隊設置済み。 アドバイザーから経営分析書（将来経営ビジョン）を提出。公社にて検討中。</p>